



労組周辺動向 No.45

2018年10月5日現在

1. 法・政策

(1) 労働政策審議会でのパワハラ、セクハラ対策で隔たり

職場のパワハラ、セクハラ対策を巡り、厚生労働省・労働政策審議会の「雇用環境・均等分科会」で本格的な議論が始まり、法整備の具体的なあり方が議論された。労働者側は、現状では救済が不十分だとしてハラスメント行為自体を包括的に禁止する規定を設けるべきだと主張した。これに対し、使用者側はパワハラ、セクハラのいずれについても新たな法整備に難色を示し、労使の隔たりが目立った。

分科会では今後も議論を重ね、年末までにまとめを出す方針。

「第6回労働政策審議会(雇用環境・均等分科会)」は以下から(日本語)。

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_01543.html

(2) 中央教育審議会が教員の時間外労働月4.5時間案を議論：罰則なく疑問視も

教員の働き方改革について議論する中央教育審議会の特別部会は、時間外勤務の上限の目安を月4.5時間とするガイドラインの案を議論した。勤務時間を抑制する狙いがあるが、指針には違反した場合の罰則はなく、現場で実行されるか疑問視する声もある。

特別部会では、文部科学省が2016年度に実施した教員勤務実態調査の確定値が報告された。公立校教員の月平均の時間外勤務は小学校で5.9時間、中学校で8.1時間に上ることが新たに判明。中学校は平均で過労死ライン(月80時間)に達していた。

また、教員の勤務時間を年単位で管理する「変形労働時間制」についての議論も始まり、委員の間で賛否が分かれた。

「学校における働き方改革特別部会(第17回)」は以下で(日本語)。

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo3/079/siryo/1409717.htm

(3) 派遣賃金の目安、初めて提示＝統計基準と同等以上－厚生労働省

厚生労働省は10月2日、労働政策審議会の会合で派遣労働者に支払う賃金水準の目安案を示した。派遣会社が労働組合などと労使協定を締結した場合に、同じ職種の各種統計にお

ける基準賃金をベースに、経験や勤務地に応じ指数をかけて算出する額と同等以上を支払うよう求める内容。政府が派遣賃金の目安を示すのは初めてとみられる。

派遣会社が使う政府統計は、賃金構造基本統計調査か、職業安定業務統計のいずれかが選択できる。職種ごとに時給に換算した基準値を作成し、指数をかけて目安とする。該当職種がない場合に活用で厚労省は労働政策審議会の議論を経て年内にも方針をまとめ、2020年4月からの適用を目指す。

「第11回 労働政策審議会 (職業安定分科会・雇用環境・均等分科会同一労働同一賃金部会)」は以下 (日本語)。

https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000176596_00005.html

2. 法違反・闘い

(1) 「3年ルール」期限迫り、派遣切りの相談続々→直接雇用へ壁

平成27年9月30日施行の改正法の前までは、秘書や翻訳など26業務について、派遣社員は同じ部署で期間制限なく働くことができた。施行後は、同じ部署で派遣社員が働くことができる期間は一律3年となり、3年を経過すれば、労働組合の意見聴取を経た上で、別の部署で働くか、派遣先での直接雇用の道がある。派遣元の会社は派遣先の同じ部署で別の労働者を派遣することもできる。

しかし、直接雇用の「壁」は高い直接雇用する場合、派遣元の会社が派遣先に対し、派遣労働者の年収の30%を「紹介料」として支払いを求めるケースが多いとされる。

(2) 残業代242万円の支払いを…公立小学校教師が提訴

いくら時間外労働をしても手当が払われないのは違法だとして、埼玉県の公立小学校の男性教師が県を相手に未払い賃金の支払いを求める訴えを起こした。

訴えを起こしたのは埼玉県で37年間小学校の教師をしている男性。公立学校の教員は長時間の時間外労働を強いられているのに手当が支払われないのは違法だとして、未払いの賃金として242万円の支払いを求めている。男性は月平均で約60時間の時間外労働をしていたとしている。

(3) 事務職員と岐阜県下市町村立の全小中校に三六協定締結なし

岐阜県内の市町村立の全小中学校が事務職員に時間外労働をさせる際に必要な労使協定 (三六協定) を結んでいないことが、県教育委員会の調査で明らかになった。県教委は8月中旬に各市町村教委に協定を締結するように通知した。

(4) 無期契約前日の雇い止め不服と提訴 日本通運は争う姿勢

日本通運川崎支店の契約社員だった男性が、無期契約に転換できる雇用期間の前日に雇い止めされたとして提訴し、同社は「争う」としている。

男性は「無期契約に転換したくないという理由だけで、会社が職場に必要な人材までも雇い止めにすることはやめさせてほしい。社会には私と同じような境遇の人が多くいる」などと語った。

(5) 裁量労働制、三菱電機は全廃・政権は拡大方針

三菱電機は技術者が多く、裁量労働制の対象社員のうち8割以上が専門業務型で、残りは企画業務型だった。ともに3月で廃止した。

三菱電機の山西健一郎・元社長（現特別顧問）は経団連副会長を務めており、同社で裁量労働制の働き手の過労自殺や制度の廃止が表面化したことは波紋を広げそうだ。

(6) “雇い止め” 東北大職員組合が再雇用要求：大学側は拒否

2018年3月に東北大学が、非正規職員との雇用契約を打ち切ったいわゆる「雇い止め」の問題で、東北大学の職員組合は9月27日、職員の再雇用などを求めたが大学側は拒否した。

東北大学の職員組合は9月27日、大学との交渉を前に「雇い止め」の撤回を求める8,000人あまりの署名を集めた。東北大学は通算5年を超える前の2018年3月に282人の雇用を打ち切った。また今年度末にも新たな「雇い止め」を実施する方針を示している。9月27日の交渉で東北大学は8,000人分の署名については受け取ったものの、すでに解雇した非正規職員の再雇用は拒否し、新たな「雇い止め」の方針も変えなかった。職員組合は今後、訴訟の準備も進めることにしている。

(7) 金スタッフとの団交拒否でNHKが敗訴：東京地方裁判所が「労働組合法上の労働者」と認定

NHKの集金スタッフ（地域スタッフ）が、労働組合法上の労働者にあたるかどうか争われていた裁判で、東京地裁は労働者性を認める判決を出した。

NHKは、地域スタッフは労働者ではないという立場。ただし、団体交渉は認めないものの、組合を「事業者団体」と位置付け、交渉に応じていた。ところが、2010年に交渉を拒否することがあり、問題になっていた。

NHKは「主張が認められず、遺憾。判決内容を精査し、今後の対応を検討する」としている。

3. 情勢・統計

(1) 福山通運が「働き方改革」で10月から日曜日の集荷・配達を中止

福山通運は、「働き方改革」の一環として日曜日の集荷・配達を取りやめると発表した。運送業界の人手不足を踏まえた施策で、「今後も引き続き安全・安心な輸送サービスを提供し続けるため」だとしている。

(2) 同時双方向は出席扱い 病気療養児の授業参加

文部科学省は都道府県教育委員会に通知を出し、長期間学校を欠席しなければならない病気療養児が、病院や自宅からインターネットなどを介してリアルタイムに学校の授業に参加することを出席扱いにできるようにした。

出席扱いは校長の判断による。

(3) 世界女性外相会合、中心に河野氏＝記念撮影で唯一男性－カナダ

カナダ東部モントリオールで9月21日、世界各国の女性外相を招待した女性外相会合が開かれた。先進7カ国（G7）の外相らも参加し、日本からは河野太郎外相が一部の行事に出席。女性外相会合ながら、記念撮影では唯一男性の河野氏が真ん中に立ち、周りに女性15人が並んだ。

河野氏は、安倍政権が女性の地位向上に前向きな姿勢をアピールするために会合に出席した。

(4) トヨタ、再雇用年収に150万円上乘せも＝技能系熟練の意欲向上

トヨタ自動車が、60歳の定年後に再雇用されて生産ラインで働く技能系のベテラン従業員を対象に、待遇を改善した新たな雇用形態を検討していることが明らかになった。年収を現行制度に100万～150万円上乘せし労働意欲を高める。労働組合の同意を得て2020年度の導入を目指す。

人手不足で期間従業員の採用が難しくなる中、トヨタは再雇用従業員の待遇改善により若手への円滑な技能継承も図ることで、長期的な生産性向上につなげたい考え。

(5) 女性就業率7割、非正社員が増加

総務省が9月28日発表した8月の労働力調査で、女性の就業率が7割に達した。比較できる1968年以降で初めてで、人手不足で企業が求人を活発にしている中、働く時間を選びやすい非正社員で働く女性が増えていることが背景にある。

働き手世代の15～64歳の女性のうち、働いている人の割合を示す就業率は前年同月より2.1ポイント高い70.0%になった。雇用者（役員を除く）を形態別にみると、正社員は前年同月比22万人増の1149万人、非正社員は同63万人増の1454万人で、非正社員が大きく増えた。

「労働力調査（基本集計）平成30年（2018年）8月分（2018年9月28日公表）」は以下（日本語）。

<http://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/tsuki/index.html>

「労働力調査（基本集計）平成30年（2018年）8月分 結果の概要」は以下（日本語）。

<http://www.stat.go.jp/data/roudou/sokuhou/tsuki/pdf/201808>.